



2025 年が始まりました。今年も月報を通じて皆様に法学類の「今」をお届けします。年が明けてさっそくですが、いよいよ第 4 クォーターの期末試験ですね。寒さ対策と感染症対策を万全にして臨みましょう。第 127 号は犬塚先生のエッセイ、台湾への短期留学体験記、先輩メッセージです。

◆◆教員エッセイ◆◆

第 84 回 犬塚雅文（法科大学院／民事実務）

私は、金沢大学法学部を卒業し、社会人経験を経て、金沢大学法科大学院に入学しました。現在は、金沢市内の法律事務所で弁護士などの業務を行いながら、金沢大学法科大学院で実務家教員をしています。担当は、民事実務系科目です。

私は、運動、スポーツ全般が好きです。運動と同じくらい寝ることも好きです。運動して疲れた状態で熟睡できたら最高です。小学校はソフトボール、中学校は野球部、高校はサッカー部、大学はサッカーサークルに所属していました。社会人になってからは、登山、ロードバイク、マラソン、トライアスロンなどにチャレンジしました。知人や友人から誘われると興味が沸き、先のことはあまり考えずにトライしてきました。特に用事がないのにスポーツ用品店に行くこともあります。オシャレでカッコイイ商品を見ると自分もアスリートになった気がしてテンションが上がります。ただ、ここ数年は、山に登っていませんし、ロードバイクは物置の奥で眠っています。遊びでサッカーボールを蹴ったり、学童野球のお手伝いをしたりする程度です。野球技術は衰えつつありますが、学童野球の審判技術は向上中です。仕事柄、ストレス対策としても運動は大切だと感じています。運動を続けるためには楽しむことが一番良いと思っています。これからも、できる範囲で楽しく運動して充実した生活を送りたいです。



「ツール・ド・の」ともチャレンジしました

台湾留学で得た経験

寄稿

私が台湾留学で過ごしたのは、台湾北西部に位置する新竹市。「風の街」の異名を持つほど強い風の吹く、緑豊かでとてもきれいな街でした。国家公務員を目指しているため、アジア圏の言語や文化に触れておいたほうが良いと考え、1か月の語学留学を決意しました。その頃の私は第二外国語として中国語を習い始めて数か月。中国語を話す能力は皆無に近かったのですが、留学先の陽明交通大学には中国語だけでなく英語も学べるプログラムがありましたし、授業では台湾の食文化や観光なども幅広く学ぶことができました。

また、大学には「たけのこクラブ」という日本語を話すサークルがあり、台湾の大学生と日

本人留学生（金大のほかに千葉大と関西学院大の学生も同じプログラムでした）との交流を図ってくれました。歓迎会や学校探索、いろいろなグループ活動を通して仲良くなり、留学中に誕生日を迎えた私にサプライズでケーキやプレゼントを用意してくれたり、休日には夜市に誘ってくれたりもしました。思い出深いのは観光地で激しい雨に降られた時のこと。台湾の友達がレインコートを買ってくれたのですが、それでも寒くてたまらず、食事に入ったお店の店員さんが、心配してドライヤーを貸してくれたのです。帰りにはお湯も持たせてくれて、その気遣いが心に沁みました。

1年生のうちに留学を経験し、外国語学習に対するモチベーションを早いうちに高められたことは、本当に良かったと思います。そして何よりも、国境を越えて人と交流し、その温かさに触れた経験は一生の宝物になったと思います。

法学類1年 N.M.



「学ぶ」法律、「使う」法律

法学類の皆さん、こんにちは。私は1991年（平成3年）に金沢大学法学部に入学し、学部生として4年、法学研究科の大学院生として2年を金沢大学のキャンパスで過ごしました。観光会館（今の「金沢歌劇座」）での入学式を終えてから、兼六園の前を歩いて石川門をくぐり、今はなき城内キャンパスに金沢大学の学生として立った時の晴れやかな気持ちは今でも忘れません。

さて、学生時代の私はどちらかと言えば課外活動に精を出しており、法学部生としての本分をわきまえた生活を送っていたかと言われると、力強くうなずく自信はありません。しかし、法学部に入り「法律」と接するようになって以来、「法律」との縁が切れることはなく、学生時代に「学んで」いた法律を、国家公務員として仕事に就いてからは、「使う」立場になりました。法律を使う立場になってみると、学生時代にその使い方がある程度学んだことのありがたみを強く感じます。仕事をしていく上では、時として自らの前に壁が

立ち上がることはありますが、法律の知識があることや法律的なものの考え方ができることは、この壁に

立ち向かう際の大きな武器になるのです。もちろん、それですべてのことがクリアできるというわけではありませんが、法律の条文に出てくる小難しい文言や法律特有のクセのある文章を、まったく「？」という思いで眺めるか、「どこかで会ったことあるよね？」という思いで眺めるかは大きな違いだと思います。学生時代に法律を学ぶ機会を得られたことは、公務員にならずとも、社会生活を営む上で大きな強みとなるはずですので、ぜひ、その強みを自信にして社会に羽ばたいていてください。

金沢大学法学類で学んだ皆さんが、社会に出て、様々なフィールドで活躍されることを心から祈っています。そして、そんな皆さんに、いつかどこかで出会えることを楽しみにしています。

福井刑務所所長 森川久浩(1995年法学部卒、1997年法学研究科修了)



法学類P
へGO!



- 法学類の学生、卒業生、教員に関するイベント等の情報を、ぜひお寄せください。
- 関係者の皆様のご寄稿を歓迎します。採用された方には、法学類グッズを進呈します。
- 本誌のバックナンバーは、金沢大学法学類 Web サイトに掲載していますのでご覧ください。<https://law.w3.kanazawa-u.ac.jp/category/brochure/geppo>
また、メールでの定期配信（無料）をご希望の方は、金沢大学人間社会系事務部学生課 (n-kyomu@adm.kanazawa-u.ac.jp)までお申し込みください。
- お読みになってのご意見ご感想は、上記メールアドレスまでお寄せください。